

坪内 逍遙 『名残の星月夜』(初出:『中央公論』1917年)

特別展覧会 聖徳学園創立 90 周年記念

日本近代作家の 自筆原稿

令和5年 7月10日(月)から 令和6年 1月27日(土)まで

午前9時から午後5時まで

休館日は日曜日・祝日・学事日程による休業日

聖徳大学 8号館 1階企画展示ギャラリー

JR 常磐線、新京成線松戸駅下車、東口より徒歩5分(車でのご来場はご遠慮ください)

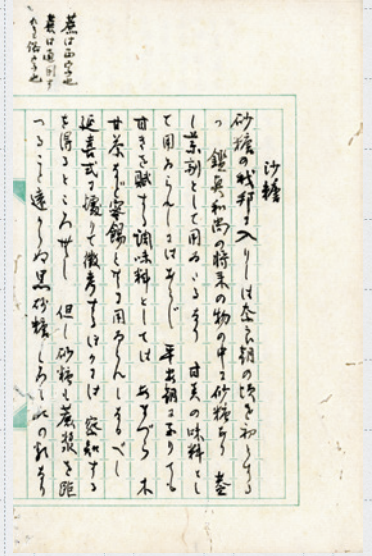
特別展覧会 聖徳学園創立90周年記念

日本近代作家の自筆原稿

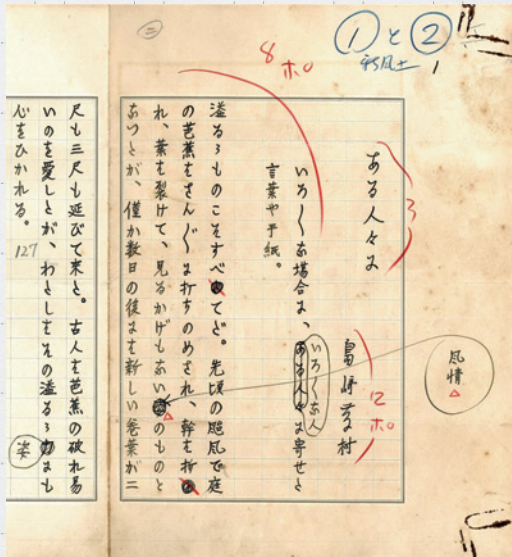
本学で所蔵するわが国を代表する近代作家の自筆原稿を、展示公開します。坪内逍遙、尾崎紅葉、幸田露伴ら明治文学を推進した作家から、昭和期の川端康成、林芙美子、有吉佐和子らに至るまで、明治・大正・昭和期の代表的な作家たちの自筆原稿を、作家の生誕順に紹介します。



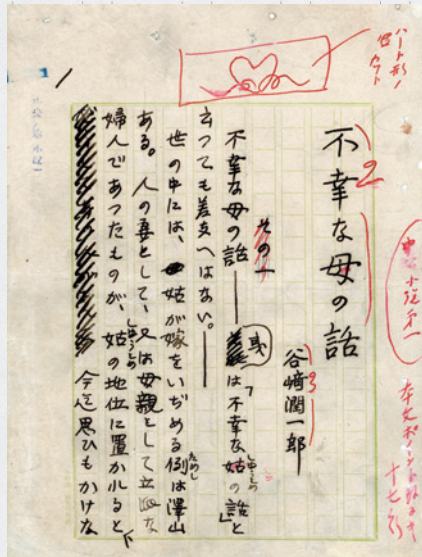
尾崎紅葉『浮木丸』
(初出:『読売新聞』原題『三すぢの髪』1893年)



幸田露伴『沙糖』
(初出:『雑談』1946年)



島崎藤村『ある人々に』
(初出:『新風土』1938年)



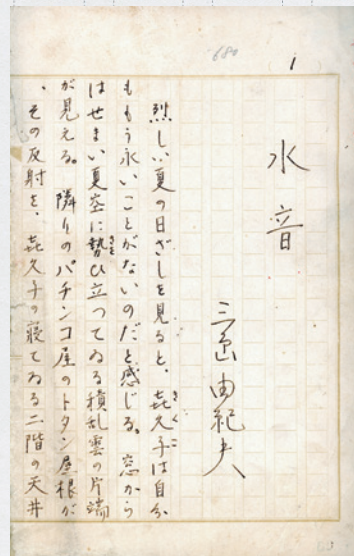
谷崎潤一郎『不幸な母の話』
(初出:『中央公論』1921年)



川端康成『東京の人』
(初出:『北海道新聞』等1954年)



林芙美子『十字星—放浪記第三部—』
(初出:『日本小説』1947年)



三島由紀夫『水音』
(初出:『世界』1954年)

その他の主な展示作品

吉川英治『親鸞聖人』
(初出:1934年)

井上靖『シベリヤの旅』
(初出:1969年)

安部公房『第四間水期』
(初出:1958年)

有吉佐和子『雛の日記』
(初出:1961年)

展示する作品は
変更することがあります